

2011 AUTOBACS SUPER GT 第3戦
SUPER GT INTERNATIONAL SERIES MALAYSIA

2011年6月18日(土)~6月19日(日)

予選 レポート



場所:セパン国際サーキット / 天候:晴れ / コース:ドライ / 気温:32℃ / 観客動員数:15,000人

2011年SUPER GTシリーズ第3戦はSUPER GT唯一の海外戦、F1も行われる赤道直下のセパン国際サーキットで行なわれた。

6月18日(土)

<公式予選1回目 / 午後2:15~3:05>

今回の予選方式はスーパーラップ方式である。予選10番までの車両がスーパーラップに残れる。まずはGT500とGT300の混走時間に両ドライバーが基準タイムをクリアする為、#62 R&D SPORT LEGACY B4は山野哲也のドライブでコースに出て行く。計測2周目、2分11秒474と問題無いタイムを出す。すぐにチームは、ピットインして佐々木孝太にドライバー交代する様、無線で指示する。その時、山野より「ギアが入らない」との無線連絡が入る。



ピットイン後、チームはギアボックスの点検に入るが、再びコースインする事は出来なかった。結果、17番グリッドから決勝を迎えることとなった。なお、GT500クラスのポールポジションは、#1 ウイダーHSV-010、GT300クラスは#4 初音ミク グッドスマイルBMWが獲得した。



www.rdsport.net

■本島監督コメント

大事なところでトラブルが出てしまい残念です。

今日の予選ではFIA-GTが速い中、何とかスーパーラップに進み、予選10位以内でのスタートを目標にしていましたので。トラブルの原因を徹底的に究明し、明日の決勝までには完璧な状態にマシンを仕上げます。明日もまたドライバーに負担を掛けてしまいそうですが、今日出来る限りの対策を行いレースに臨みたいと思います。



予選の詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/jp/>
またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/news/> もご覧ください

2011年6月18日
SUBARU LEGACY B4
TEAM アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net